



Karatsu

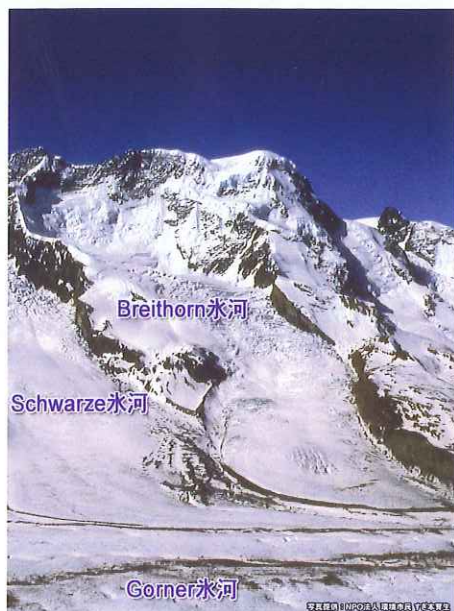
環境だより

VOL.

2

編集/発行: 2008.2.1 唐津市環境対策課 TEL 0955-72-9124

地球温暖化を防ぐために



写真提供: NPO法人環境市民 すぎ本育生氏

(スイス アルプスのマッターホルンから連なる4000m級の山々から流れ出る氷河)

まずは、上の写真を見比べてみて下さい。違いがわかりますか？実は左の写真は1984年6月、右の写真は2006年6月同じ場所で撮影したものです。22年間でこれだけ氷河が後退しているのがわかります。1985年から2000年の間にスイスでは、全氷河の22%が減少したと報告されているそうです。

「写真提供=全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより(<http://www.jccca.org/>)」

グリーンランドや南極大陸などの陸上の氷が溶け始めると、徐々に海水面が上昇してきます。

20世紀中に約17センチ上昇していて、さらに100年先には59センチ上がると予想されています。

また、氷が海に流れ込む関係で、海流の温度が変化し、暖流・寒流の流れが変わり、それによって気象も変わる可能性があります。

この100年で地球の平均気温が0.74℃(日本では、1.06℃)上昇しています。

世界の多くの科学者が、このまま何も対策をしなければ、次の100年で6.4℃上がると予想しています。

平成17年度のCO₂(二酸化炭素)等の温室効果ガスの排出量は、13億6,000万トン、京都議定書の規定による基準年(1990年)

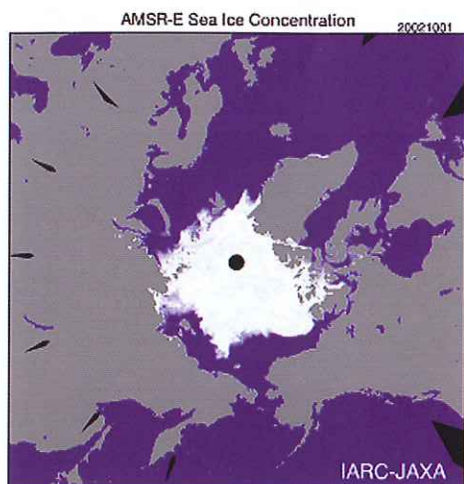


私たちが住んでいる地球は、非常に繊細なもの、私たちの手で守ってきたいものです。

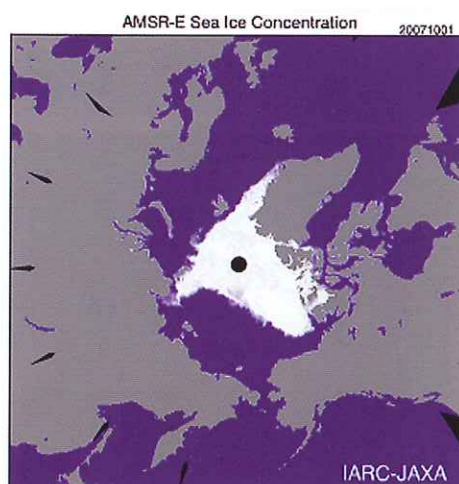
(画像提供=国立情報学研究所「デジタル台風」)

に比べ7.8%上回っています。基準年からの削減目標は6%でしたので、現在は13.8%以上の削減が必要です。また、部門別では、産業部門が5.5%減少していますが、家庭部門の排出量は36.7%の増、運輸部門18.1%の増、業務その他の部門(商業、サービス等)44.6%の増となっています。(環境省ホームページ)

環境省では「一人一日1キログラムCO₂削減」国民運動を呼びかけています。一人ひとりが、身近にできることをすることが大切なのです。



白い部分が2002.10.1(北極)の氷地帯



白い部分が2007.10.1(北極)の氷地帯
「衛星画像提供=宇宙航空研究開発機構(JAXA)」

多少の気象条件の違いはあるにしろ、わずか5年間で、北極の氷がこれだけ小さくなっているのは地球温暖化の影響ではないかと言われています。

家庭でできる10の取り組み

佐賀県環境にやさしい県民運動推進会議(事務局:佐賀県環境課)では、環境家計簿(地球環境家族)を作成し地球温暖化防止運動を推進しています。環境家計簿(唐津市版)を市ホームページに掲載しています。家庭でできる10の取り組みは、私たちがすぐ取り組めそうなことばかりです。早速実行しませんか。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| ① 冷房の温度は28℃、暖房の温度は20℃を目安に温度を設定しよう | ⑥ お風呂の残り湯を洗濯などに利用する |
| ② 車の利用を控える
(なるべく歩いたり自転車に乗りましょう) | ⑦ 炊飯ジャーの保温をやめる |
| ③ アイドリングストップを行う | ⑧ 家族団らんし、冷暖房と照明の利用を減らす |
| ④ 待機電力を減らす | ⑨ 不必要なテレビのつけっぱなしをしない |
| ⑤ シャワーを流しっぱなしにしない | ⑩ 買い物のときは、買い物袋などを持ち歩き、省包装の物を選ぶ |

お知らせ

米国のアル・ゴア元副大統領と国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)がノーベル平和賞を受賞しました。アル・ゴア元副大統領著「不都合な真実」を読んでみませんか。急激に進んでいる地球温暖化の真実が見えてくると思います。

～こんな事業をやっています～

スリーアール

3Rでものを大切にする社会をつくりましょう。

①ごみを減らす^{リデュース} (Reduce)、②くり返し使う^{リユース} (Reuse)、③再生利用^{リサイクル} (Recycle) の「3R」の実行で、限りある資源を大切にする「循環型社会」をつくっていきましょう。循環型社会とは、ものを大切に使い、使い終わったものでも、もう一度使えるようにしていく社会です。唐津市もったいないセンターでは、自転車や家具などをもう一度使えるようにしています。



もったいないセンター見学の皆さん

唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業を実施中

唐津市の、すばらしい環境に恵まれた自然環境を守り、次の世代に引き継ぐことを目的とし、市民参加による自主的、主体的及び継続的に取り組む、自然環境と調和した活動を募集し、経費の2分の1に相当する額を補助しています。

平成18年度は6件の事業でしたが、今年度は15件の事業を採択し、環境保全のためさまざまな活動を展開しています。



町田川再生事業

海辺の漂着物調査

この調査は、(財)環日本海環境協力センターが呼びかけ全国の日本海沿岸自治体及びロシア、中国、韓国も参加して実施されるもので、佐賀県は平成13年度から参加しており湊中学校の皆さんが、環境学習の一環として毎年調査にあたっています。



海岸漂着物の調査をする湊中1年の皆さん(唐津市相賀の浜)平成19年10月18日(木)

～身近な環境を守りましょう～



した 浜玉町の枝垂れ梅

浜玉町の野田地区から平原地区へかけて、道路沿いには梅林が点在しのどかな風景が楽しめます。また、横田上・野田・平原地区には多くの民家の庭に立派なしだれ梅があり、咲いた梅の花は見事の一言です。

期間：2月中旬～3月中旬

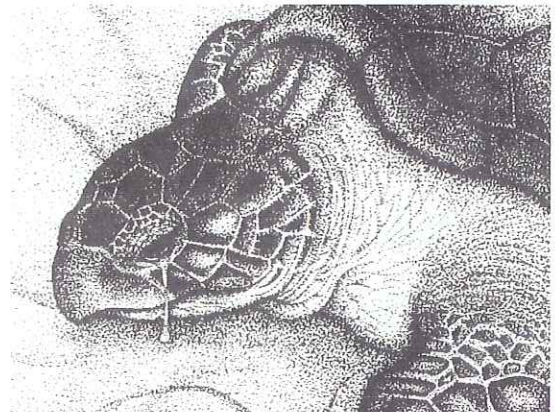
場所：浜玉町横田上、野田地区、平原地区

アカウミガメが唐津で産卵

昨年(2018年)の11月に、カメの保護活動をされている市民の方から「唐津でもアカウミガメの産卵が見られた」という情報が寄せられました。

この近郊で見られるカメは、ほとんどがアカウミガメですが、今年の夏に100個ほどの卵を産み、無事に孵化が終わり、子ガメが海に帰って行ったということです。

ウミガメは、ごみやブロックなどの障害物、明るい光や音に敏感です。産卵をあきらめて海にもどり、海の中で卵を産むと卵は全部死んでしまいます。海に帰っていった子ガメも成熟するのは、よくて一匹か二匹と言われています。アカウミガメは絶滅危惧種に指定されています。ウミガメにとって、自然のままの砂浜が大切です。自然環境を守っていきましょう。



(画像提供=環境省自然環境局及び日本ウミガメ協議会)

(環境保護の立場から場所については公表できかねます。)

昨年の環境フェア(水素燃料電池自動車)



「かねまつり～環境防災ネットワーク 博覧会～」の開催

子どもから高齢者までいろいろな世代の人たちが楽しめる体験ゲームやブース展などがあります。

平成20年2月17日(日)10時から16時 雨天決行

場 所 唐津市ふるさと会館アルピノホール

主催者 特定非営利活動法人さが環境推進センター

共 催 特定非営利活動法人唐津環境防災推進機構
K A N N E

後 援 佐賀県・唐津市・唐津市教育委員会

問い合わせ 唐津環境防災推進機構 K A N N E

電話0955-70-0303